

令和4年度介護保険事故報告

本報告は、「あきる野市介護保険事業者等における事故発生時の報告取扱要領」に基づき、介護サービス事業者から報告のあった、令和4年度中に発生した事故報告について、集計・分析等をまとめたものである。

1 対象者の属性(年齢と要介護度をクロス集計:表1)

○最も多いのは、「80歳代の要介護3」が41件(11.7%)、次いで「80歳代の要介護4」、「90歳代の要介護3」がそれぞれ36件(10.3%)。これらで、全体の3割以上(32.3%)を占めている。

表1 年齢層別代介護度別事故報告件数

年齢/要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明(空欄含む)	合計
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	1	2	1	0	4
70～79歳	0	0	2	7	10	9	5	1	34
80～89歳	1	0	4	13	41	36	11	1	107
90～99歳	0	0	3	7	36	31	18	0	95
100歳～	0	0	0	1	3	6	1	0	11
その他(空欄含む)	0	0	0	0	0	1	0	98	99
合計	1	0	9	28	91	85	36	100	350

2 サービス種別の分類(表2)

○最も事故件数が多かった介護保険サービス種別は、「介護老人福祉施設」が290件(82.9%)で、事故報告件数の8割を占めている。
○次いで、「介護老人保健施設」が21件(6.0%)、介護付有料老人ホーム等での要介護者に対するサービスの「特定施設入所者生活介護」が12件(3.4%)、短期入所サービスである「短期入所生活介護」が7件(2.0%)となっており、4種で約9割以上(94.3%)を占めている。
○在宅サービスにおいては、「通所介護」が8件(2.3%)で最も事故件数が多かった。

表2 サービス種別事故報告件数

サービス種別	件数	構成比
介護老人福祉施設	290	82.9%
介護老人保健施設	21	6.0%
特定施設入居者生活介護	12	3.4%
通所介護	8	2.3%
短期入所生活介護	7	2.0%
認知症対応型共同生活介護	5	1.4%
居宅介護支援	1	0.3%
通所リハビリテーション	1	0.3%
訪問リハビリテーション	0	0.0%
福祉用具貸与	0	0.0%
訪問介護	0	0.0%
訪問入浴	0	0.0%
訪問看護	0	0.0%
認知症対応型通所介護	0	0.0%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0.0%
小規模多機能型居宅介護	0	0.0%
療養型医療施設・介護医療院	0	0.0%
その他(空欄含む)	5	1.4%
合計	350	100.0%

3 事故の内容

(1) 事故発生要因別事故内容(事故の内容を事故の要因別にクロス集計:表3)

○「感染(事故要因)」による「感染症(事故内容)」が最も多く189件(54.0%)、次いで「転倒(事故要因)」による「骨折(事故内容)」が62件(17.7%)、「介護看護(事故要因)」による「誤薬・処方漏れ(事故内容)」が30件(8.6%)となっている。
○事故内容で見ると「感染」が196件(56.0%)、次いで「骨折」が89件(25.4%)、「誤薬・処方漏れ」がそれぞれ31件(8.9%)となっている。

表3 事故発生要因別事故内容

事故内容/事故要因	転倒	介護看護	転落	感染	誤嚥	原疾患に起因	その他	不明(空欄含む)	合計	構成比
骨折	62	2	4	0	0	1	4	16	89	25.4%
打撲	4	0	0	0	0	0	0	0	4	1.1%
損傷・表皮剥離・擦り傷	4	1	1	0	0	0	1	0	7	2.0%
誤薬・処方漏れ	0	30	0	0	0	0	1	0	31	8.9%
感染症	0	0	0	189	0	0	7	0	196	56.0%
窒息	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0.6%
行方不明	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0.6%
意識レベルダウン	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.3%
脳疾患・脳出血	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0.6%
誤飲・誤食	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.3%
心疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
個人財産・情報の紛失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他(空欄含む)	3	2	0	0	0	0	9	1	15	4.3%
合計	74	35	5	189	3	4	23	17	350	100.0%

(2) 損傷部位 (表4-1、表4-2)

○ 損傷部位別に事故を見ると、最も多いのが「下肢」62件(40.3%)で、次いで「体幹・腰部」17件(11.0%)となっており、これらで、全体の5割(51.3%)を占めている。

○ 「下肢」の具体的な部位である、「大腿骨」は56件で下肢の90.3%を占めている。

表4-1 損傷部位別事故件数

損傷部位	件数	構成比
下肢	62	40.3%
体幹・腰部	17	11.0%
上肢	14	9.1%
頭部・顔部	11	7.1%
呼吸器	3	1.9%
消化器	2	1.3%
循環器	1	0.6%
泌尿器	0	0.0%
皮膚	0	0.0%
その他(空欄含む)	44	28.6%
合計	154	100.0%

※ 損傷部位に関わらない事故(「感染症」196件)を除いた154件で集計している。

表4-2 損傷部位詳細

損傷部位詳細	件数	構成比
大腿骨骨折	56	36.4%
大腿骨損傷等	0	0.0%
大腿骨以外の骨折	35	22.7%
骨折以外の身体に関わる事(空欄)	63	40.9%
合計	154	100.0%

※ 損傷部位に関わらない事故(「感染症」196件)を除いた154件で集計している。

(3) 事故発生時間帯別報告件数 (表5)

○ 発生時間帯別に見ると、発生件数が多いのは「17時～18時」の時間帯で25件(16.2%)、次いで「9時～10時」、「18時～19時」がそれぞれ11件(7.1%)となっている。

表5 事故発生時間帯別件数

発生時間帯	件数	構成比
0時～	0	0.0%
1時～	2	1.3%
2時～	2	1.3%
3時～	3	1.9%
4時～	0	0.0%
5時～	6	3.9%
6時～	7	4.5%
7時～	9	5.8%
8時～	9	5.8%
9時～	11	7.1%
10時～	8	5.2%
11時～	9	5.8%
12時～	5	3.2%
13時～	4	2.6%
14時～	2	1.3%
15時～	4	2.6%
16時～	8	5.2%
17時～	25	16.2%
18時～	11	7.1%
19時～	5	3.2%
20時～	7	4.5%
21時～	1	0.6%
22時～	7	4.5%
23時～	3	1.9%
不明(空欄含む)	6	3.9%
合計	154	100.0%

※ 「感染症」196件を除いた154件で集計している。

(4)事故発生場所(表6)

○事故の主な発生場所は、「居室内」が61件(39.6%)で全体の4割超の事故を占めており、次いで、「食堂」53件(34.4%)、「廊下」9件(5.8%)となっており、これらで、全体の約8割(79.8%)を占めている。

表6 事故発生場所別件数

発生場所	件数	構成比
居室内	61	39.6%
食堂	53	34.4%
廊下	9	5.8%
共用トイレ	7	4.5%
浴室	5	3.2%
屋外	4	2.6%
利用者宅	4	2.6%
リビングフロア	2	1.3%
その他施設内	2	1.3%
玄関	0	0.0%
その他(空欄含む)	7	4.5%
合計	154	100.0%

※「感染症」196件を除いた154件で集計している。

(5)第一発見者(表7)

○第一発見者は「介護者(ヘルパー)」が142件(92.2%)となっており、次いで他利用者、看護師がそれぞれ2件(1.3%)となっている。

表7 第一発見者

第一発見者	件数	構成比
介護者(ヘルパー)	142	92.2%
他利用者	2	1.3%
看護師	2	1.3%
医師	1	0.6%
その他施設職員	0	0.0%
家族親族	0	0.0%
生活相談員	0	0.0%
その他(空欄含む)	7	4.5%
合計	154	100.0%

※「感染症」196件を除いた154件で集計している。

4 事故後の対応

(1)事故発生直後の対応(表8)

○事故発生直後の対応別に見てみると、最も多いのが、「診察」で176件(50.3%)、次いで「見守り」17件(4.9%)となっている。

表8 事故後の対応

事故発生直後の対応	件数	構成比
診察	176	50.3%
見守り	17	4.9%
縫合	0	0.0%
手術	0	0.0%
消毒	0	0.0%
その他(空欄含む)	157	44.9%
合計	350	100.0%

(2)事故報告書作成時での利用者の現状(表9)

○事故発生直後の対応(通院・往診後等)以降の利用者の現状を見てみると、最も多いのが、「経過観察」で170件(48.6%)、次いで「入院」55件(15.7%)となっている。

表9 利用者の現状

報告書作成時での利用者の現状	件数	構成比
経過観察	170	48.6%
入院	55	15.7%
通院中	7	2.0%
死亡	5	1.4%
軽快	4	1.1%
治癒	0	0.0%
その他(空欄含む)	109	31.1%
合計	350	100.0%

(3)事故報告の時期(表10)

○事故発生日から報告までの日数は、「0～10日」が97件(27.7%)、次いで「11～20日」が94件(26.9%)となっている。
○30日以内に報告される件数は、204件で全体の5割以上(58.3%)を占めている。

表10 事故発生日から報告書提出までの期間

事故発生日から報告書提出までの期間	件数	構成比
0～10日	97	27.7%
11～20日	94	26.9%
21～30日	13	3.7%
31～60日	23	6.6%
61～90日	50	14.3%
91日以上	70	20.0%
発生日不明(空欄含む)	3	0.9%
合計	350	100.0%

※高齢者支援課に到着した日としている。

※市要領では、報告までの日数については、「速やか」に提出することとしている。